

日本台湾学会
第 15 回学術大会プログラム

2013 年 5 月 25 日 (土)・26 日 (日) 於広島大学

共催：公益財団法人交流協会

第 1 日 5 月 25 日 (土)

受付開始：13:15 (場所：総合科学部 K 棟玄関ラウンジ)

シンポジウム：13:45-17:15 (会場：総合科学部 K211 教室)

タイトル「東アジアの近代を読み直す～植民地、越境、冷戦～」

会員総会：17:25-18:10 (会場：総合科学部 K211)

懇親会：18:30-20:30 (会場：広島大学キャンパス内「マーメイドカフェ」)

第 2 日 5 月 26 日 (日)

受付開始：8:30 (場所：総合科学部 K 棟玄関ラウンジ)

分科会：9:00-10:50

分科会：11:00-12:50

分科会	企画					自由論題				
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
領域	歴史学 (開催校企画)	社会人類学 文化人類学	歴史学	文学	政治学	歴史学	歴史学	文学	経済・経営	言語学
	K208	K206	K207	-	-	K310	-	K309	K308	-
	-	K206	K207	K208	K308	-	K310	-	-	K309

K〇〇〇は会場となる教室番号です。

使用言語：原則として日本語を使用

***** 《シンポジウム》 *****

シンポジウム「東アジアの近代を読み直す～植民地、越境、冷戦～」【25日】[K211 教室]

基調報告：西成彦 (立命館大学)「脱植民地化の文学と言語戦争」

サブ報告：我部聖 (沖縄大学)・崔真碩 (広島大学)・三木直大 (広島大学)

コメンテーター：柯慶明（台湾大学）・米谷匡史（東京外国語大学）・水羽信男（広島大学）
全体討議
司 会：川口隆行（広島大学）

***** 《分科会》 *****

第1分科会（歴史学・開催校企画）【26日】[K208教室]

「台湾現代史からの「冷戦」期再考」

企画責任者：水羽信男（広島大学）

座長：水羽信男（広島大学）

報告：

・前田直樹（広島大学）

「台湾と1950・60年代の冷戦」

・中村元哉（津田塾大学）

「20世紀前半の中国政治思想から読み解く戦後台湾の政治思想 1960年代の殷海光の活動を
中心に」

コメンテーター：水羽信男（広島大学）

第2分科会（文化人類学・社会人類学）【26日】[K206教室]

「台湾とパラオにおける植民地経験 - 接触領域にみる「日本」」

企画責任者：西村一之（日本女子大学）

座長：西村一之（日本女子大学）

報告

・飯高伸五（高知県立大学）

「旧南洋群島における日本人移住者と現地人の「ハーフ」がたどった戦後史」

・石垣直（沖縄国際大学）

「交錯する植民地経験 - 台湾原住民・ブヌンと「日本」との衝突・接触・邂逅」

・西村一之（日本女子大学）

「台湾東海岸における「日本」とのつながり 日本化から中華化のあいだで」

・三田牧（神戸学院大学）

「「古きよきパラオ」の語られ方にみる日本統治経験 パラオ、日本、アメリカの価値観をめぐ
って」

コメンテーター：植野弘子（東洋大学）・遠藤央（京都文教大学）

第3分科会（歴史学）【26日】[K207教室]

「元台湾総督府官僚・内海忠司からみた植民地支配 戦争・台湾・帝都」

企画責任者：近藤正己（近畿大学）

座長：北村嘉恵（北海道大学）

報告

・近藤正己（近畿大学）

「退職植民地官僚と台湾倶楽部・台湾協会」

- ・北村嘉恵（北海道大学）
「台湾総督府東京出張所に関する史的素描 植民地統治のもうひとつの拠点」
- ・河原林直人（名古屋学院大学）
「官」と「民」の狭間に見た戦時期台湾 内海忠司の視点」
- ・湊照宏（大阪産業大学）
「戦時期台湾の化学企業と軍部 南日本化学工業会社と陸軍」
コメンテーター：檜山幸夫（中京大学）・やまだあつし（名古屋市立大学）

第4分科会（文学）【26日】[K208教室]

- 「国語・母語・文学言語の擬制を超えて - 呉濁流と黄靈芝の日本語作品」
企画責任者：山口守（日本大学）
座長：山口守（日本大学）
報告
- ・李郁蕙（東北大学）
「呉濁流の文学言語を考える 日本語と漢文との共存」
 - ・下岡友加（県立広島大学）
「呉濁流と黄靈芝、創作方法の比較考察」
コメンテーター：張文薫（台湾大学）・岡崎郁子（吉備国際大学）

第5分科会（政治学）【26日】[K308教室]

- 「台湾オポジション形成史研究の視座」
企画責任者：小笠原欣幸（東京外国語大学）
座長：小笠原欣幸（東京外国語大学）
報告
- ・若林正丈（早稲田大学）
「康寧祥と『党外』の黎明 台湾オポジション第二次組党運動前夜」
 - ・岸川毅（上智大学）
「台湾省議会とオポジションの形成 初歩的考察」
コメンテーター：薛化元（政治大学）

*****《自由論題》*****

第6分科会（自由論題／歴史学）【26日】[K310教室]

- 座長：洪郁如（一橋大学）
報告
- ・本村育恵（青山学院大学大学院博士後期課程）
「先生」たちの戦後史 台湾経験から見た教員・医師・政治家の戦後宮古社会への影響」
 - ・富永悠介（日本学術振興会特別研究員 DC2・大阪大学文学研究科）
「琉・韓僑が経験した台湾 台湾省警務処の档案を中心に」
コメンテーター：大浜郁子（琉球大学）・八尾祥平（早稲田大学）

第7分科会(自由論題/歴史学)【26日】[K310教室]

座長:松田京子(南山大学)

報告

- ・富田哲(淡江大学)
「蔡伯毅と日本統治:かれの経歴およびその語られ方」
- ・黄美恵(文藻外語学院)
「植民地台湾の初期地方行政 辨務署の考察を中心として」
コメンテーター:浅野豊美(中京大学)・栗原純(東京女子大学)

第8分科会(自由論題/文学)【26日】[K309教室]

座長:野間信幸(東洋大学)

報告

- ・王敬翔(愛知大学大学院中国研究科博士後期課程)
「戦争期の台湾における中国古典小説の和訳、改作の「競演」をめぐって」
- ・許雅筑(成功大学台湾文学研究所博士生)
「日治時期在台女性日人作家的殖民地空間書寫 以 1930年代婦人文化演講會之女性作家群為分析對象」
コメンテーター:藤澤太郎(桜美林大学)・星名宏修(一橋大学)

第9分科会(自由論題/経済・経営・台湾産業論)【26日】[K308教室]

座長:朝元照雄(九州産業大学)

報告

- ・赤羽淳(横浜市立大学)
「袋小路に陥った台湾 TFT-LCD 企業 キャッチアップコンテキストの変化の観点から」
コメンテーター:田畠真弓(東華大学)

第10分科会(自由論題/社会言語学・言語習得)【26日】[K309教室]

座長:星名宏修(一橋大学)

報告

- ・陳麗君(成功大学)
「日本における台湾人移民の言語継承をめぐって - 日・台国際結婚を対象に -」
コメンテーター:和泉司(慶応大学)